

災害時協力協定 締結



砂町北運河連絡協議会

▲協定書を手に協議会の皆さんと

12/18、区と砂町北運河連絡協議会は「災害時協力協定」を締結しました。災害時には建物の倒壊や帰宅困難者による大渋滞の発生等で、道路交通網が麻痺する恐れがあるため、いざという時に内部河川等を利用し、水上輸送を行うための船舶や船着場を同協議会から区に提供してもらうというものです。協議会会長の小椋さんは「私たちの協議会は砂町北運河という水域の恩恵を受けてここまで発展することができた。今度は防災・減災という面で区に恩返しをしたい」と話していました。区では東西を荒川と隅田川に囲まれ、内部河川も多くある本区の特徴を生かしながら、これからも首都直下地震の発生に備え、事前準備に取り組んでいきます 図 防災課防災計画係 ☎3647-9584、FAX3647-8440



中央防波堤埋立処分場や 清掃工場をバスで巡る見学会 1/30(火)



資源・ごみへの知識を深めるリサイクル講座

▲中央防波堤埋立処分場と新江東清掃工場

環境施設見学会で、ごみの行方や資源・ごみに関する基本的な知識を学ぶ講座です。 時 1月30日(火) 午前9時～午後4時 区役所前 区内在住の方40人(申込順) 費用 無料(昼食は各自) 見学先 新江東清掃工場(午前)、中央防波堤埋立処分場(午後) 締 1月19日(金) ※定員になりしだい終了 申 1月15日(月) から電話、窓口またはアクセスに①講座名②住所③氏名④電話番号を記入し、清掃リサイクル課(区役所隣防災センター1階4番)へ ☎(3647)9181 FAX(5617)5737

深川江戸資料館 1/19(金)～2/12(月・祝) 江戸庶民の年中行事再現「初午飾り」

「地口行灯」で町中を飾り、稲荷社にお供えをし、祭りを楽しむ長屋のこどもたちの歓声が聞こえてきそうな初午の様子をお楽しみください 時 1/19(金)～2/12(月・祝) 9:30～17:00 (入館は16:30まで) 費用 大人400円、小中学生50円(観覧料) ※中学生以下は保護者同伴 申 当日直接会場へ 場 深川江戸資料館(白河1-3-28) ☎3630-8625、FAX3820-4379



▲稲荷社の初午飾り

CITY IN THE GREEN 入賞作品決定 オンラインフォトコンテスト

CITY IN THE GREENを推進するため、地域のシンボルや誇りとなるまとまった緑の写真や、ご家庭・会社等で植樹・花壇づくり等により、緑化活動を行っている場面を撮影した写真を募集しました。今回は「CITY IN THE GREEN(緑の中の都市)」をテーマとし、148点の緑あふれる作品の応募があり、審査会でCIGの普及に貢献する次の作品が入賞となりました[CIG大賞]「作品名:お野菜いかがですか(撮影場所:城東区民農園) 撮影者:竹内秀憲さん※このほかの入賞作品は、区ホームページでご覧になれます 図 管理課CIG推進係 ☎3647-2079、FAX3647-8454



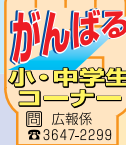
▲CIG大賞受賞作品

全日本少年少女空手道選手権大会 小4男子組手の部 優勝 末廣一晴くん(枝川小4年) 小1女子組手の部 優勝 末廣瑛菜さん(枝川小1年)



▲2人ならんで賞状とメダルを手に

兄妹の一晴さんと瑛菜さんは、夏に行われた全国大会で、そろって初出場優勝を果たしました。最高の結果を残した大会を終え、「逆転されても冷静に点を取り戻せた。昨年出場できなかった悔しさを胸に練習してきたので、本当にうれしい(一晴くん)」「積極的に試合ができた。お兄ちゃんと一緒に優勝できてうれしい。がんばって良かった(瑛菜さん)」と喜びます。道場の稽古のほか、自宅でも練習をしているという2人の今後の目標は、「全国大会で連覇する」ことです。



全国JOCジュニアオリンピック 水泳 11～12歳男子4×50mフリーリレー 優勝 中村匡希くん(深川第七中1年)

ルネサンス亀戸に所属する中村くんは、夏の全国大会でリレーのメンバーとして、見事に金メダルを獲得しました。今回の結果について「1位になれてうれしい。最高のメンバーがいたから取れたメダル」と話します。水泳は記録との戦いであり、周りはライバルだけど仲間。水泳を通じ全国の仲間とつながるのが楽しいという中村くん。「ジュニアオリンピックの個人種目で表彰台に立つ、全中に出場する、そして日本代表として世界の選手と戦い、つながる」という目標に向け、さらなる成長を誓ってくれました。



▲笑顔を見せる中村くん

ジャビットカップ 優勝 深川ジャイアンツ

深川ジャイアンツは、夏の大会で東京都と川崎市の各地区の代表54チームの頂点に立ちました。キャプテンの八所くんは「大きい大会ではなかなか優勝できなかったのが良かった」と話します。東京ドームで行われた決勝では、「走塁で投手を揺さぶる、攻撃も守備も攻める」という特長を生かし、接戦を制しました。12月には、東京都と近県4県の小学2・3年生が参加する大会で連覇を果たすなど、次の世代も成長著しい深川ジャイアンツ。今後のさらなる活躍が楽しみです。 ▲表彰式を終え、チームのみんなで



東京都中学校選手権水泳競技大会 男子50m自由形 2位・全国大会出場 清水真宏くん(深川第八中3年)

「水泳は好タイムで泳げたときや、成績が良かったときの達成感が魅力」と話す清水くんは、夏に行われた都大会で見事に2位となり、全国大会に出場しました。練習が思うようにできないまま大会に臨んだという中で、「2位という成績で、しかも全国大会に出場できたのはとてもうれしかった」と振り返ります。清水くんが見据える次の目標は、個人種目でインターハイに出場すること。「日本体育大学の水泳部で日本選手権に出場する」という夢に近づくために、新たな舞台で挑戦を続けます。



▲ガッツポーズをする清水くん

凡例 時日時 場所 集集 人対象・定員 費用 内容 師講師 保一時保育 締締切日 申申込 問問合先 HPホームページ Eメール